

CELERY

No. 9
1991

CAMPUS
COMMUNICATION

まずは一歩大きく
足を踏みだそう。

中村学園大学・中村学園短期大学／広報

山元寅男学長

目的意識が無ければ、人生は無味乾燥になると思いますよ。



プロフィール
 昨年大学院栄養科学研究科が開設されたのに伴い教授として赴任。本年4月から学長に就任。
 ☆九州大学医学部卒業・医学博士・九州大学名誉教授・中華人民共和国江西医学院名誉教授・電子顕微鏡学会の寺田賞・潮藤賞・功績賞・臨床電子顕微鏡学会の安達記念賞等受賞／文部省医学視学委員・日本学術会議解剖学研究会委員
 ◎家族構成／一男一女・孫（一人）現在満里子夫人と二人暮らし
 ◎生年月日／大正15年7月10日 ◎血液型／B型 ◎星座／カニ座
 ◎趣味／クラシック音楽鑑賞・読書・山歩き ◎スポーツ／柔道・ボート ◎好きなもの
 本／歴史書（特に中国）食べ物／何でも 外国／ドイツ（München）・スイス（Bern） 映画／熱情 俳優／三船敏郎 言葉／一期一会

中村学園の学生の印象をお聞かせください

講義の始まる前に、学生が全員起立して「礼」をすることが非常に印象的でした。それから、私語が多いのに驚きました。しかし講義を工夫し、こちらが一生懸命を入れてやればやるほど学生にもそれが伝わったようで、今ではほとんどの学生が私語をしなくなりました。「学生と教師の心の触れ合い」「心がお互いに通い合う」これが教育なのだと思います。

研究設備はいかがですか
これは第一級の研究設備が揃っていますね。私としては、非常に満足しております。

九大医学図書館はちょうど私が六年間館長をしていた時に、設計、建築されました。医学図書館としては、設備や蔵書・雑誌の種類において日本一であると自慢していたのですが、本学の図書館も「わあ！ りっぱな図書館だなあ」と思いました。栄養・医学系の図書はかりでなく教育系やその他教養の図書も多いですね。

高等教育の現状をどう思われますか
日本の大学は入るのは難しいが出るのは易しい。しかしアメリカではその反対です。日本からの留学生であるところ、できない学生はほとんど留年させられます。その点、日本の学生は厳しい競争に勝って入学してくる。入るのは非常に難しいが、いったん入ってしまえば目的意識がないというのか勉強しなくなる学生もありません。

これらの学生をどう教育していくか
日本の高等教育の課題の一つだと思います。大学教育は「質の高い教育」をすること、同時に「質の高い研究」をすること。教育も大事であるが研究も大事であり、その両輪が噛み合って活力が出るのだと思います。

学長の抱負をお聞かせください
日本の高等教育の流れをみてみると、同時に「質の高い教育」をすること、同時に「質の高い研究」をすること。教育も大事であるが研究も大事であり、その両輪が噛み合って活力が出るのだと思います。

中村学園の特色づくりをどうお考えですか
本学には、「教育」と「栄養」という二本の柱がありますね。教

入学 充実した学生生活を

学生部長 教授 櫻井 至

平成三年、桜花咲きそめた好季節に本学に入学され希望にみちみたる皆さん、まずはご入学おめでとうございます。オリエンテーションや宿泊研修を経験して、この広報誌を手にする頃には、少しは学生生活に慣れていられていることと推察いたします。

皆さん、大学生になって、何か心境の変化を感じていることはありませんか。入試の難関を突破できて解放感に浸り続けているわけではないでしょうか。何と云っても「生徒」から「学生」へと呼び名が変わったことに気づかれたはず

です。本学には指導主任やカウンセラーの制度がありますから、困ったり迷ったりする時には、相談することも大いに結構ですが、成年式が目の前に近づきつつあるわけですから、自主自力の学生へと心境変革して、自らの力で今後二年間ないし四年間を切り拓いて行くだけの覚悟を身につけることが肝腎です。自ら求めよ、さらば与えられんであります。今こそ心身と



ますと、戦後は戦争中に遅れたものを取り戻そうと学問のレベルを引き上げる時代でした。それで私や友人もアメリカへ行つて、勉強して帰ってきたわけですが、そして次にはベビーブームに対処すべく大学の量の充実期がやってきました。やがて日本は経済大国になり、それと共に生活の価値観が変わり子供が減ってきました。こうなると大学は質的充実への転換が求められるようになってきます。そういう難しい時代に私立大学はさしかかっています。

その中であって本学が存立していくには、皆が力を合わせ、質の高い教育をする。その質を上げるためには研究をし、研究の質をも上げなければなりません。教育と研究の質が上がれば、中村学園に対する社会の評価が上がってきます。「いい大学だな」という一般社会の評価を得れば、中村学園大学・短期大学へ行こう」という学生も増え、多くの受験生を吸収することができそうです。

この教育と研究の質的充実をこれから真剣に考えなければならぬと思います。そういう視点に立ってこれからの学長としての職責を果たしていこうと思っております。

さて、「学生生活を思い切りエンジョイしなさいよ」とよく言われますが、何事にかかわらず、直線的にどこまでもエンジョイし続けることなど世の中にあり得るでしょうか。大学はレジャーランド化されてしまったとよく言われますが、大学生活はそのような自由無為を許す場ではないと、皆さんは徐々に意識されつつあると思います。皆さんは、入学から卒業するまでの間に、短大では各専攻で、また大学では各学科の各専攻で、それぞれの学問分野について、専門的な基礎知識を身につけ、さらに高い教養と専門能力を養うことが期待されるわけであり、これを達成するには、「自由と規律」をわきまえることが必要であります。

大学は学生と教職員から成り立った一つのコミュニティであり、皆さんは、入学以来、学園祖及び諸先輩方の地道なそして堅実な努力のおかげで今日があることを忘れてはなりません。皆さんをお迎えすることができたことを全学挙げて喜んでいて次第ですが、皆さんもおのずから本学のより一層の繁栄と発展に参加されることになり、どうにか誇りを持って勉学と研究にそして心身を鍛えるクラブ活動に励んで下さい。

最後に、充実した二年間または四年間を過ごすことができたことを期して立派に卒業されることを期待して掲載いたします。

育と栄養は、即ち「人づくり」「体づくり」なのであり、これは家政科も含め本学の両輪となっています。この「人づくり・体づくり」は社会的責任を負った大きな課題であると同時に本学の特色ですね。
私は医学部に居たのですが、今の医学は臨床医学から予防医学へ、さらに健康医学へという流れに移ってきています。それには健康科学・栄養科学が必要です。健康は栄養と密接であり医学部とも相い通じるものがあります。いつも医学部に言っていたことですが「最高の知識を持ちなさい。最高の技術を身につけなさい。医者としての態度を養いなさい」と。これは栄養士や教師にとっても全く同じことが言えるので、最高の知識、最高の技術、望ましい態度、この三つは絶対に忘れてはいけませんね。この三つは偶然にも、学園祖中村ハル先生が言っておられた教育理念にぴったり当てはまります。私が九大で言っていたことを、すでに中村ハル先生が言っていたらしたのです。これには驚きました。全く共通するものを、お互い感じていたのです。ですから建学の精神に沿って健康増進の科学、栄養の科学、教育の科学を特色づけ、地域住民、一般社会からも高い評価を得、そして「西に栄養・教育の中村学園あり」と誰もが言う中村学園にしたいですね。

「わたくし達久山町民は、バランスのとれた食生活をいたします」。これは昭和五十六年に公表された久山町健康宣言の最初の文章である。

この健康と緑の町久山町は、福岡市の東約十三キロメートル、福岡県粕屋郡のほぼ中央にあり、人口約七千六百人、町域三七六八平方キロメートルの約三分の二は山林原野である。犬鳴山系に源をもつ猪野、久原の二つの川が町内を貫流し、緑と水の豊かな町である。

中村学園大学が、久山町との協力関係で町民の栄養調査をはじめたのは昭和六十一年の夏である。当町が、九州大学医学部第二内科による成人病健康の指定町として、昭和三十六年から成人健診を実施し、それらの成果は久山町研究として内外に多くの実績を誇っており、私たちは機会があればその研究に参加したいと思っていた矢先のことであった。当時、本学の卒業生大石敏弘氏(管理栄養士 専攻、昭和五十七年卒)が、久山町の健康課にいたことが直接のきっかけであった。



生大石敏弘氏(管理栄養士 専攻、昭和五十七年卒)が、久山町の健康課にいたことが直接のきっかけであった。

久山町における栄養調査と指導

食物栄養学科・食物栄養科

助教授 城田知子

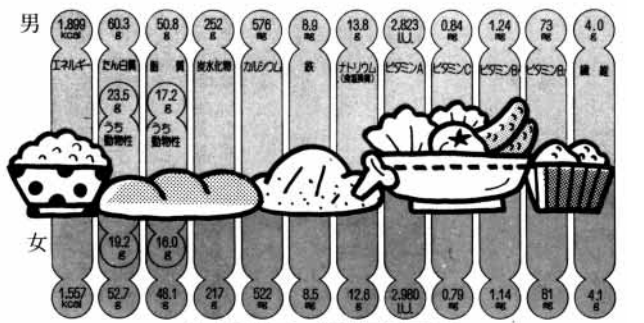
つた。昭和六十一年の栄養調査は、卒論(ゼミ)の学生を中心に若干名の希望学生を含んで、七月下旬から八月上旬の真夏に、町民の約七〇%に当たる百五十八世帯、五百四十四名を無作為抽出し連続三日間個人別秤量法による調査を実施した。宿泊は、上久原町の老人いこいの家を借用した。一人の調査員は平均八世帯を受け持ち、一日一回は必ず対象者と面会をし国民栄養調査と同じように、その日食べたものを全部詳細にチェックするのである。

が、最初は双方とも慣れていないことや、台所の中身をのぞかれるという感じから嫌われることもあり、すべてが順調にいったわけではない。栄養疫学調査の目的は、地域住民の疾病構造を明らかにしそこに関与する食を含む生活習慣を探り、ある法則性を見出し疾病予防に役立てようとするものであるために、対象一人一人の生活行動の内容を、余暇時間の過ごし方に至るまで聴き取り、その人を丸ごと把握しなければならぬのである。また、対象者は昼間働いている人が多く調査は夜になることもしばしばであったが、学生たちは根気強くそして明

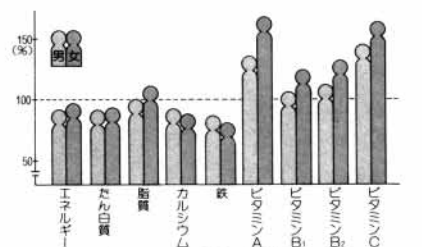
るくその難難を乗り越えてくれた。人間関係は一日一日と緊密さを増し、精度の高い調査ができるようになった。

近年の日本人の栄養水準は、平均的にはほぼ望ましい線を保っているのであるが、個々には豊かな食環境の中にあつて、欠食や外食、個食や孤食、節食や偏食などなど実に多くの問題を抱えているが、久山町においても例外ではない。本調査の成績をみても、平均値ではカルシウム・鉄が少なく、特に若年層にその傾向は顕著であった。油脂類や野菜類の摂取量が少ないことも確認できた。

昭和六十一年から成人病健診事業に参画させていた。油類や野菜類の摂取量が少ないことも確認できた。昭和六十一年から成人病健診事業に参画させていた。油類や野菜類の摂取量が少ないことも確認できた。昭和六十一年から成人病健診事業に参画させていた。油類や野菜類の摂取量が少ないことも確認できた。



久山町住民の栄養素等摂取量 (平均1人1日当たり)



調査対象の平均栄養素等摂取量と平均栄養所要量との比較 (調査対象の平均栄養所要量=100)

がやや過少申告される傾向があることがわかり、これらの欠点を改良しながら、昭和六十三年度に実施された成人病一斉健診事業に臨んだ。男千三百三十三名、女性千五百二十三名が対象者であった。調査の時期が盛夏であることや、人口の高齢化も手伝って、たんぱく質、カルシウム、鉄の摂取量が所要量を下回っていた。塩分の摂取量は、男性一三・八、女性一一・六gで全国平均を少し上回っていた。(結果の一部を図示しておく)これらの結果は、健診の結果と同時に、町の保健婦さんや栄養士さんを通して丁寧に詳しく個人に説明、指導に生かされるのである。

一斉健診の結果は、直ちに翌年(平成元年度)の事業計画に組み込まれ、糖尿病教室(耐糖能異常の者)や貧血教室が開講された。九大医学部第二内科の医師や運動担当、栄養担当、生活指導(町の保健婦)が柱となり、一定期間中に十分に練ったカリキュラムに従って展開し、その効果を判定するのである。食べるということが個人的で自分流になりやすく、よほど強い動機がないと変容し難い側面を持っているので、地道に反復指導をすることの重要性と、成人病予防という立場から栄養士に求められるものが大きいということ、学生共々実感させられた貴重な体験であった。

生きる姿に感銘—ネパール王国コテン村の調査から—

食物栄養学科・食物栄養科

助教授

伊藤和枝

ヒマラヤの麓ネパール王国では食塩摂取量が我が国と差がないにもかかわらず、高血圧者の少ないことから高血圧ならびに虚血性心疾患の発症要因を見いだす目的で、医学・栄養学・運動生理学・社会人類学の広領域の調査が九州大学・久留米大学・中村学園大学を中心に行われている。第一次・二次調査では丘陵農村コテン村と都市近郊農村バドラカリ村の夏の調査を行い、第三次調査は塩茶を一日一リットルも飲む習慣をもつネパールのチベット族を対象に行われた。

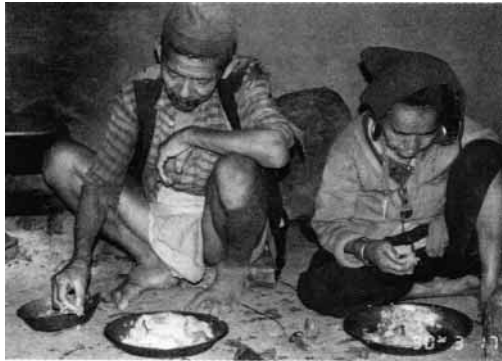
ここではコテン村の生活の様子を中心に紹介したい。ネパールの首都カトマンズから車で約二時間半、赤土の細道を登る。谷あいの道は雨で流されており、山肌へばりついて登るところも何箇所か

あった。標高一三〇メートルのタマン族の集落は、電気も、風呂も便所もなかった。山の斜面はみことな段々畑でトウモロコシが一面に植えられていた。赤土を固めたレンガを積み重ねた住居は牛舎と台所がとなり合わせにある家もみられた。台所には土間に三方から石を立て掛けたカマドが一つ、煙突もない。カマドで燃される燃料のトウモロコシの芯がくすぶって戸口を入っても涙で目があけられなかった。燃料には稲藁、乾かした水牛の糞も使われていた。

食事は一日一〜三回食で主食はトウモロコシの粉を湯で練り上げたデイロと五分つき米のご飯であった。都市近郊農村では全粒小麦粉がデイロに用いられていた。野菜を岩塩と赤唐辛子、クミンシードなどの香辛料で煮たタルカリが唯一の副食で、ちよと味噌汁位

の量であった。タルカリの主材料は夏季は南瓜のつるか里芋の茎で、家庭による違いも、日ごとの違いも無く、毎日同じものが食べられていた。動物性食品は年に一、二回祭りの時だけで、日常は全く摂取されていなかった。年間を通して米を食べることのできるのも裕福な家庭だけであり、一日の食事のほとんどがトウモロコシであった。ちなみに穀類から摂取するエネルギーが総摂取エネルギーに占める割合は我が国の約四八%に対し約八五%と高く、穀類がすべての栄養源であり、飽食の食生活からは想像できないものであった。

電気のないコテン村では村人は夜明けとともに起き、水汲み、飼料用の草刈り、燃料集め、そして日暮れまでの畑仕事が日常であった。日暮れとともに家族は火を囲



村人の食事風景

調査に同行して

大学院栄養科学研究科

船津末弘

研究室から

家政科 教授 才田真喜代



パッチワークは、アメリカの伝統手芸です。ものなかつた時代にはぎれを利用して、生活に必要なペットカバー、クッション、フロアマットなどを一つの家に集まって、お茶を飲みながら、お母さん達が楽しく縫っていたのが始まりだと言われています。

私たち才田ゼミ生は、先生を囲んで和気あいの楽しい雰囲気の中で意欲的に制作に取り組んでいます。

1年間で大きな作品なら1つ、小さな作品なら2つから3つの作品を作りあげます。長い時間をかけて作るおかげで、出来上がった時の感激は、他ではなかなか味わえないものがあります。

パッチワークは、自分でデザインを決めて、一つ一つ布を選び、それから色あいをよく考え、試しながら縫い合わせていくところに楽しさがあります。そうやって、根気強く世界にたった1つしかない自分だけのオリジナル作品を作るのです。

できた作品は学園祭にも出品。訪れた人を楽しんでもらっています。中には、ぜひ譲ってほしいと言われることもあります。なんと断り切っています。

その他にも、茶話会やコンパを開いたりして楽しんでいます。

そして時々授業の合間に才田先生の研究室に遊びに行ったりもしています。

ネパールのような開発途上国の現状については、直接その国に向かなくても、日本にいながらテレビ等を通して知ることはできるのだが、実際に自分で電気も風呂もない生活をし、危ないものを食べ、栄養失調の子供を目の当たりにするというのがいかなるものか理解できたような気がする。このことも含めて、ネパールでは日本では決してできない貴重な体験を数多くさせていただき、大変勉強になった。これからも、大学院の後輩のために、私が得たような機会を与えてほしいものである。

大きな感動を胸に

—最後の講義を終えて—

原 俊之



平成三年一月九日第三限、四一五教室での児童学専攻四年生「教育原理」の講義は、私の満六十年間にわたる教師生活における最終講義（授業）となりました。

昭和六年三月東大文学部教育学科を卒業後、四月一日佐賀県立鹿島中学校（現鹿島高等学校）を振り出しに、福岡師範学校（戦時中福岡第一師範学校に改称昇格、現福岡教育大学の前身）を経て、二十三年九州大学文学部へ転任、二十六年新制度の教育学部教授となり、四十七年三月在任二十余年の九大を定年退官の後、私は同年四月から中村学園大学、同短大第三代目の学長に就任しました。学長在任中の九年間とその後客員教授として今日までの十九年間、私は週一コマか二コマ、大学の児童学科や短大幼児教育科の学生に「教育学」「教育原理」「外書講読」等の講義を担当しました。その最終講義となる一月九日に、何をテーマとするかについて、数日前から熟考し、テキストの最終章に合わせて、私なりの教師論で締めくくることができました。当日は多少緊張した気分の中で、私は永年の持論、「お互い生

身の人間である教師と教え子同士が、心と体でじかにぶつかり合う教育の世界は、簡単にその成敗を予想したり、その結果の正否を数量的に測定することが、極めて難しい、微妙で不可測な営みであること。完全無欠で理想的な教師は現実には存在しないから、誰しも長短を併せもつ教師達は、それをお互いに補充し合う協力体制、たとえば、それぞれ粗密の差のある網の目を重ねて、細かい網の目を作って、この上に載せた大小さまざまな豆粒にたとえる子どもを、一粒でも落ちこぼれないようにすること。等々」と、多少の理論や調査研究を引用したり、私の六十年間の教壇経験の具体例を話したりして、かなり熱意をこめ、九十分間の講義を終えました。この間六十余名の学生は、ほとんど私語する者もなく、真面目に聴講してくれました。講義終了後、例の如く一同が起立し別れの挨拶が済み、私が講義資料を片づけ始めた時、前の席にいた学生が「先生ちよっとお待ち下さい」と言って、教室の後ろに用意していたらしい紙袋の中から、取り出した色とりどりの美しいカーネーションとストロベリーの花を、一本ずつ学生全員が私に手渡しお礼を言い、最後にクラス

委員長から、老眼鏡入れの記念品を頂きました。そして教室の出口の所まで、学生が二列に並んで、頂いた花束の袋と記念品、靴を抱えて教室を出る私を拍手で見送ってくれたのです。「有難う」と感謝の言葉をかけ、私は大きな感動を覚えながら教室を去りました。この一年間、前後期併せて二十五回の講義を通じ、私語する学生に対してはその都度厳しく戒めましたが、思いもかけず熱心な聴講態度に接した時には、心から褒めたこともありませう。また講義中には必ず五分間程の「駄弁り時間」を設けて、この間に出席カードを学生の一人ひとりに配布し、姓名をサインし講義後に回収して出欠点検の正確化を図りました。マイク設備のない教室のため、私は老眼に鞭打って、時には声を張り上げたり、暫くは沈黙を続けてみたり、或いは退屈らしさをほくすちよっとした教育的笑話をする等、いろいろ講義の仕方に工夫もしました。今、一月九日の講義のことを思い浮かべるとき、私の六十年間の教壇生活における最終講義を、文字通り花で飾ってくれた児童学専攻四年生の学生諸君に、私は心から感謝すると共に、学園中村ハル先生の遺訓の「感謝」の精神が、学生諸君の心の片隅に芽生え育っていることを悟らされ、嬉しさが一人身にしみまふ。（中村学園理事、九大名誉教授）

大学院に進学しよう

大学院栄養科学研究科長 教授 後藤 昌義

日本人だけでなく、広くアジアの人々の健康の維持、増進を考えた栄養科学の拠点として、中村学園大学に大学院が発足して、はや一年が経過しました。その間、錚々たる先生方を多数お迎えし、また最新鋭の研究機器・設備が充実され、研究室も見違えるように立派になりました。ことに西四号館の隣にアニマルセンターが新築され、この五月から全学的組織として稼働、実験に研究に威力を発揮することになり、また西四号館には健康増進センターが設立され、健康増進の基礎研究とともに学内外、地域住民にも奉仕する拠点として活動することになりました。大学院研究科そのものは六部門から構成されていますが、その主な特徴は、伝統的な栄養生化学部門、食品学部門に加え、栄養に関するより高度の基礎医学的研究と教育を行うために、栄養生理・形態学部門、また上記の健康増進センターの中核となる健康増進科学部門、より高度な臨床栄養学を修得させるための臨床栄養学部門、さらに地域的、国際的に、環境の健康に及ぼす影響を研究し教育する環境栄養学部門を設けていることです。また一方、教育上の特色は「理

論と実際の統合を図り、学問と生活の融合を重んずる」という建学の精神に基づいて、理論とともに実験・実習を重視し、実行力ある実践的な栄養科学の専門家を育成することです。またこれらの理論、方法、技術を応用して特別研究を行い修士論文を作成させ、他方、できる限り地域社会との交流を深め、学外での実体験を含め「心ある」専門家の育成に努力いたしています。事実、大学院生の船津君は昨年夏、ネパールの栄養健康調査研究に参加し、また留学生の鄭君は二度にわたり台湾での児童・学生の健康と栄養調査に従事いたしました。このように本学の大学院は研究面、実践面ともに国際的な栄養科学の拠点となることを目指して努力いたしています。今後とも皆様方の絶大なご支援をお願い申し上げます。志ある多数の方々の大学院進学をお勧めする次第です。



NAGINATAを世界へ紹介

—英国ユニバへ田中美恵さんら派遣—

今年の夏にイギリスのシェフィールドで開催されるユニバーシアード夏季大会の文化行事に、本学なぎなた部から赤司泉さん（短大食物栄養科二年）、徳久和子さん（短大幼児教育科一年）、田中美恵さん（大学食物栄養学専攻四年）の三名が学生文化団の一員として派遣されることになった。

福岡市は、一九九五年のユニバーシアード開催地になっており、今回の派遣はシェフィールド大会事務局の要請に、福岡市の同大会推進委員会がこたえたもの。一行は七月十九日に出発し、二十九日に帰国する。昨年とびつめ国体で優勝した国体強化選手を中心に編成されたなぎなたの一行は武道グループの中心として、屋外ステージや選手村で計六回演技を披露、「NAGINATA」を世界の若者に紹介する。



左から赤司さん、田中さん、徳久さん

また、滞在中は地元市民や学生とも交流を深めるためにホームステイをするなど、国際親善と福岡大会のPRも行う。派遣期間中がちょうど前期試験と重なることから、ちよっぴり気持ちを日本に残したままの訪英となるが、日本の伝統武道を世界に紹介してきたと張りきっている。

大学生活みえたかな？

—新入生宿泊研修終わる—

入学当初の不安と緊張を和らげ、少しでも早く学園生活に馴染んでもらうことを目的に本学恒例の一泊二日の宿泊研修が、今年度も四月十五日から十八日の間、佐賀県唐津市内のホテルで開催された。名勝虹の松原を真近かにひかえる美しい海岸線は素晴らしい、くつろいだ雰囲気の中、活発な研修が行なわれた。



各学科単位での研修プログラムは、新入生だけでなく、三年生も全員参加する食物栄養学科などそれぞれの特色や方針を生かした多彩な内容である。クラス懇談での自己紹介では思いがけないキャラクターの人物も出て盛り上がる。先輩達の体験を交えたユニモラスな学生生活の具体的なアドバイスは、新入生にとり何よりの情報であった。また、専門職

としての栄養士が実際の職場でどのような業務を行なうのか、ビデオ上映や卒業生を招いての講演で具体的に理解してもらおうという取り組みや、教養のための講演会、自己分析テストの実施、海岸での地引き網や砂浜運動会などの企画も用意されていた。夜は浜辺でのファイヤーストームや広間でのカラオケ大会で自慢のものを披露したり、余興があったり、爆笑また爆笑で遅くまで大いに盛り上がりつつあった。消灯時間を過ぎてからの友達同士のおしゃべりを楽しんだ人もけっこう多いはず……。学生達は硬軟とりまぜた研修メニューをそれぞれ自分なりに受けとめ、楽しむところは思いっきり楽しみ、クラスの仲間との連帯感をつくり上げていったようである。

栄養士養成施設協会から 会長表彰

平成二年度の全国栄養士養成施設協会の会長表彰者として、本学から三名が選ばれ三月十五日の卒業式で、倉恒学長から表彰状が手渡された。

- これは栄養士課程または管理栄養士課程を優秀な成績で卒業する学生に毎年与えられるもので、表彰者は次のとおりである。（内は卒業後の勤務先 写真上から）
 - 大学 食物栄養学専攻 綾部美津子さん 福岡県小郡市 聖和記念病院（栄養士）
 - 大学 管理栄養学専攻 森光 千恵さん 福岡県春日市 福岡徳洲会病院（栄養士）
 - 短大 食物栄養科 松本 香織さん（福岡市東区 千早病院 栄養士）

元気なサークル 弓道部 (6)



ビーンと張りつめた空気の中にピュンとうなる弓の音。ここは体育館の隣にある弓道部の道場。「袴姿のかっこ良さにあこがれて入部しました」と語る主務の尾中亜矢子さん（児童教育学専攻3年生）。口を真一文字に結び、弓をひく姿に凛々しさを感じる。

部員は現在8名だが、ほとんどが初心者。最初は弓をひく基本姿勢を学び、軽い弓に慣れてから徐々に重い弓にかえていく。

的までの距離は28m、的の直径は何と36cmしかない。「確実に的を射るには、集中力と十分な練習が必要なんです。練習は週5回ですが、少しでも上達するには、休まずに継続することが大切ですね。でも、道場が狭いことが悩みなんですよ」と主務の宮崎洋子さん（児童教育学専攻3年）。

それでも、福岡県大学弓道選手権大会団体戦で、昨年、一昨年と2年連続3位という立派な成績を残している。「もちろん、今年度の目標は、ズバリ優勝です。悪くとも3位入賞は果たしたいですね」と、宮崎さんの答えは頼もしい。

弓の長さは2m以上もあり、試合のときは持ち運びも大変だ。遠征試合も多く、8月には神戸で試合がある。「出費も多いんですが、みんな遠征を楽しみにしているんですよ」（尾中さん）。練習がオフになる春休みには、部員のほとんどがアルバイトで遠征費を貯金しておくという。

輝く太陽の日差しの中、力強い矢が、みんなの目標を射とめることだろう。

アニマルセンター 本格稼動に

西四号館の隣りに建築中であったアニマルセンターが完成し、四月二十三日に竣工式を終えた。このアニマルセンターは、栄養、健康、疾病の予防や病態生理に関する研究のための実験動物を飼育管理し、また、実験設備を整備提供することを目的としている。館内は二十四時間冷暖房化され、常に均一にされた条件で管理されるようになっている。

また、適切な実験動物施設としての役割を恒久的に維持するために、利用についてはきめ細かな規則が定められている。アニマルセンターの主な施設設備は次のとおり。

- 構造・面積 鉄筋コンクリー
ト造二階建
四六六・八〇㎡
- 一階 検収・検疫室 (1)
- 代謝実験室 (1)
- ラット飼育室 (1)
- ウサギ飼育室 (1)
- ラット(SPF)飼育室 (1)
- ウサギ(SPF)飼育室 (1)
- ラット繁殖室 (1)
- 洗浄滅菌室 (1)
- 管理室 (1)
- キッチン (1)
- 実験室 (1)
- 手術・処置室 (1)
- 機械室 (1)

()の数字は室数

九電工

マラソン部員に栄養指導 — 食事の改善でレベルアップを —

食生活に関心をもちたいこと、選手としての能力をもっと引き出せたらと、日本のトップクラスにある株式会社九電工の男女マラソン部の要請で、本学食物栄養学科の城田知子助教が選手に栄養指導を行っている。

「これまでの日本選手の指導方法は精神論が中心でしたが、これだけでは、もはや世界のレベルには通用しなくなっています。すでに、東欧共産圏諸国などでは医学や栄養学などを含めた選手の科学的管理でレベルを上げており、日本でもようやく精神論以外に、栄養学などにも関心をもち始めました」(男子マラソン部監督 渡辺康徳氏)

城田助教はスポーツと栄養の関連についても研究を行っており、同部からの要請は、双方にとってタイミングのよいものであった。

三月四日には本学で講義と調理実習が行われ、部員二十名とコーチ、監督、それに選手の食事をつまかなう寮母さんらが受講した。城田助教は、「どういふかたちで栄養を摂取したらよいかを理解してもらおうには、実際に料理を作ってみるのが一番です」と実習の目的を説明。その後、選手の栄養とエネルギーのバランスを考えたハンバーグ、野菜サラダ、スープな



渡辺監督は、「栄養と競技能力のアップがどう関わってくるかは、まだこれからデータを取っていかないとわかりませんが、選手一人一人が食べることも一つにも注意するようになれ」と、この栄養指導の成果に期待している。

この栄養指導には大学院一年生の小松洋一君も参加。管理栄養士専攻四年生のときに同部の栄養指導を卒業研究テーマに取りあげたのがきっかけで、今日まで研究を続けている。小松君は三月末に行われた男子マラソン部の合宿にも同行し、選手の食事指導や疲労度調査などを行っており、これまでの調査研究の結果を、今夏の九州体育学会で発表したいと張り切っている。

ちよひつと

インタビュー

食物栄養学科・食物栄養科
広井祐三 助教

横顔

平成二年度海外研修教員として、昨年四月から本年三月まで一年間、アメリカのユタ大学医学部生化学教室、Martin C. Reckstriner 教授のもとで「動物細胞内における蛋白質分解のメカニズムに関する研究」を行い帰国。保健学博士。

アメリカという国の印象はとにかく自由な国なんです。そして次の二つのことをとても大事にするのだなあと思いました。まず一つは「自立すること」。子供でも十二歳になると、ベビーシッターとして働くことを許され、一時間一〜二ドルの手当がもらえるそうです。こうして子供の時から自立の精神が養われるようです。

あと一つは「自分の意見を堂々と述べること」。間違っていると思えば、相手が教授でも学生は自



また、研究者同志の交流も日本では考えられないくらい活発で、セミナーも非常にたくさん開催されるのには驚きました。主任教授は十五人いる研究者の誕生日には、パースディ・パーティーを開いてくれるなど、実に快適な研究生活でした。

自分が納得するまで議論をします。困ったことはやはり言葉です。私の研究室には南アフリカ連邦共和国・スペイン・ドイツ・韓国・スイス・インドそれに日本と実に様々な国籍の研究者が集まっています。その中で、最も英語がヘタなのが日本人でした。英語教育のあり方については、本当に考えさせられました。

大学生について 学生は何か一つ、必ずボランティア活動をしています。入学の際の条件の一つにもなっているんです。だから、すごく親切なんです。例えば私がキャンパスで地図を広げていると、「May I help you?」と必ず声をかけてくれます。弱い者、困っている者には手を差し伸べるといふアメリカの精神というか、心の豊かさを見せてもらったような気がします。

研究生活は快適でしたか 大学では、研究だけをすれば良いという環境を与えられ、大きな成果を上げられたと思っています。また、研究者同志の交流も日本では考えられないくらい活発で、セミナーも非常にたくさん開催されるのには驚きました。主任教授は十五人いる研究者の誕生日には、パースディ・パーティーを開いてくれるなど、実に快適な研究生活でした。

Present 「グルマンド」から 時計の街灯

食と学びの会「グルマンド」から、結成十二年を記念して時計つき街灯一基が本学に寄贈された。この会は、慈善事業として毎年施設などに寄附を続けてきたが、会の主宰者である本学食物栄養学科の楠喜久枝教授が、中村学園にも何かを、ということでも会員の賛同により今回の運びとなった。

時計つき街灯は、楠教授が、かねがね「キャンパス内の道路が暗い」、「時計がキャンパスに欲しい」という学生の声を気に止めておられたことから寄贈品に選ばれた。

CDコーナー前に設けられた街灯はさつき点灯され、クラブ活動などで帰宅の遅くなった学生らの足元を明るく照らしている。

なお、この街灯の寄贈に対して中村久雄理事長から二月二十六日、同会に対して感謝状が贈られた。



学園回想 (8)

最終回

移り変わり

学校法人中村学園理事長 中村久雄

中村学園大学が発足して間もない昭和四十年代前半期、国公立のほとんどの大学でいわゆる民主化闘争の嵐が吹き荒れていた。あの有名な全学連の活動で大学紛争は最高潮に達していた。本学は小さな大学で、しかも女子学生が大多数を占めていたせいか、それほど尖鋭的な動きは無かったが、全く無風地帯という訳でもなかった。学生の一部には何かにつけ学校の方針に反抗的態度をとる者もいた。近くの九大教養部(中央区六本松)はその頃大学紛争の一つの拠点になっていたが、本学もその余波を受けるのではないかと、教職員は随分神経をとがらせていたものである。当時を振り返り、あの大学紛争は一体何だったのだろうかと思慮でならない。

そのような混乱の時代ではあったが本学は着実に拡大発展の途上にあった。昭和四十年代初期の頃の学園の姿は、大学は現在地、城南区別府のキャンパスに、既設の中村栄養短大(昭和三十二年開学)は大学から約五百メートル程離れた上中浜町一丁目(現在中村

苦八苦する惨状であった。二十数年経た今日、これが全く逆転し、消費経済コースの人気の高いにはただただ驚くばかりである。明らかにハードからソフトの時代へと世の中が変わったことを実感する。

昭和四十三年三月、別府キャンパスに中央本館、東一号館、中央南館、旧西一号館が竣工し、現在見られる大学、短大校舎の約七〇%が完成した。かねての計画通り短大もこの別府キャンパスに統合されることになり、まず最初に中村栄養短大が前述の上中浜町から移転してきた。東側の校舎を短大が、西側の校舎を主に大学が使うことになり、中央部の校舎は共用ということになった。

短大も既設の栄養科(中村栄養短大栄養科)と家政科の二学科を擁するようになり、中村栄養短大では実態にそぐわないので、今日使われている中村学園短期大学へと校名を変更した。なお家政科は発足後暫く栄養短大の跡の上中浜校舎を使用した。

その頃、高校卒業女性性の短大進学希望の傾向が一段と高まってきた。これは日本の著しい経済成長と共に各家庭が豊かになってきたことに因るものと思われる。本学園でもそのような時代の要請に応え、短大にも一学科増設しようという機運が強まってきた。色々の角度から検討が加えられ、更に文部省内一、二の方の意見をも参考にし、最終的には幼児教育科増

設に決定した。幼児教育の重要性が認識され始めていた時代でもあり、また大学には既に児童学科が設置されており、経営的にも、教育研究の面でも一層の充実向上が期待できるということがその主な理由であった。

昭和四十三年、短大幼児教育科増設の申請書を文部省に提出したが当時、学園の財政は極めて厳しい状況のもとに置かれていたため止むなく入学定員を最低の三十名に絞っての申請であった。同学科は昭和四十四年四月発足し、その後順調な成長を遂げ、今日入学定員は二百四十名に膨らんでいる。子育てに関して俗にいう「小さく産んで大きく育てよ」とはまさにこのようなことであろう。

本学園ではその後昭和五十四年、大学付属専修幼稚園を開園、昭和六十一年、中村学園三陽中学校(男子校)、同六十三年、三陽中学校(男子校)を開校する等目下発展途上にはあるが、これらに関して述べることはいささか脇道にそれるような気がする。また本学大学院栄養科学研究科(修士課程)はまだ誕生したばかりで回想どころではなく、これも割愛することにした。

平成二年度就職状況

学生課長 久保田 義昭

平成二年度卒業生(平成三年三月卒業)の就職は、大学九六・六%短大九八・%の決定率となっている。職種系列ごとに就職状況を概観してみよう。栄養士関係では、病院・施設の栄養士という従来のパターンに加えて、食品製造会社の研究開発・品質管理という職種が増加している。また健康に対する関心の高まりから、健康増進科学の専門家として、本学卒業生のニーズが拡大しつつあるようだ。

児童・幼児教育関係では、学生の専門職指向が若干減少しつつある状況で、特に短大の幼児教育科で、一般企業の事務関係に就職する者が目立って増えている。幼稚園教諭・保育の職種は事務系職種より求人時期が遅いことととも、に学生の意識の変化も反映しているのではないかとと思われる。

事務関係では、金融・保険を中心に、多岐にわたっており、企業の採用意欲の高さにも支えられ好結果につながった。七月・八月に求人ピークがあるので、早い段階から企業研究・先輩訪問など着実に取り組んでいくことが大切である。なお二年度は公務員として栄養士十一名、保育士十名、事務十一名と実績が上がった。

(栄養士) 製菓給食、明治乳業、中村学園事業部、愛和病院、油山病院、飯塚病院、川浪病院、さく病院、潤和会記念病院、聖マリア病院、西福岡病院、野口病院、福岡赤十字病院、福岡大病院、八幡厚生病院、高取保育園、ふたば保育園、社会福祉協議会、佐賀県職員、福岡市職員(外務栄養士) 森永乳業、雪印乳業(品質管理) ニチレイ(研究開発) 一番食品、九州フライム、デリカ、サンデリカ、理研農産化工、宮崎県農産果汁(栄養・運動指導員) 福岡大学(事務) 宝幸水産、三井金属鉱山、味の素、鳥越製粉、日清製油、ハウス食品工業、ミツカン、雪印食品、三菱化成、昭和アルミニウム、松下電工、石川島播磨重工業、吉村薬品、大和銀行、佐賀銀行、西日本銀行、福岡銀行、大分県労働金庫、丸三証券、千代田生命保険、同和火災海上保険、西鉄旅行、オムロンフィールドエンジニアリング九州(営業) 和光堂、岩田屋

健康生活のススメ(7)

食物栄養学科・食物栄養科 助教授 吉岡 慶子



言葉の候、黒潮にのったカツオの群れが北上して来るいま頃は、脂ののりがよく、たたきのおいしい時期です。食生活におけるニーズの多様化の中で、健康指向が高まり、これまで主として動物性タンパク質の給源として評価されてきた魚介類に対して、新たな期待が寄せられています。

特にイワシ、サバ、サンマなどの青い背皮の魚は血中のコレステロールの増加を抑制するので、心臓病や高コレステロール血症の予防によいことが知られています。これらの魚の脂質を構成している高度不飽和脂肪酸のエイコサペンタエン酸(EDA)、ドコサヘキサエン酸(DHA)は血栓形成やコレステロール増加をおさえる働きをする生理活性物質の生成に必要なものです。

また、DHAには脳の老化防止や記憶学習能力の向上に作用があるといわれています。さらに、イワシの筋肉を酵素で分解し、タンパク質よりさらに底分子化したペプチドに調製したものは、高血圧症ラットに対するの血圧降下作用やウサギの目の血管の拡張作用が有ることが明らかにされてきました。このように、魚に言表れる脂肪やタンパク質は高血圧症やそれに伴う成人病の事防に効果を発揮しています。

しガシ-万では、魚ばなれがいわれ、特に、若者の穂はなれが自立ついています。その理由は、魚にさわれない、料理法を知らない、まだ、子供には量があるので薦ませにくい、ボリューム感に欠けるなどと嫌われる傾向にあります。これらの魚はなれもちょっとした調理の工夫でおいしく食べることが出来ます。さらに、魚に野菜や海藻などほかの食品を組み合わせて食べることで、それぞれの栄養成分が作用して、生理機能を高めることは言うまでもないことです。

平成二年度の主な就職先

【大学】(食物栄養学専攻) (栄養士) ウメコボレーション、ドクターフーズ、聖和記念病院、井上外科病院、福岡共立病院、福岡県職員(研究開発)オニマル、日本食品、ふくや、理研農産化工(衛生管理)九州環境管理協会(事務) 日本水産、三井鉱山、守谷商会、トヨタカローラ博多、親和銀行、西日本銀行、大和証券、三井海上火災保険(販売)フルベール、井筒屋(家庭科教員)福岡県公立学校、向陽学園、福岡南女子高等学校(助手)精華女子短期大学

【大学】(管理栄養士専攻) (栄養士) 佐賀給食センター、ホワイズ・福岡販売、岩田屋、原病院、済生会福岡総合病院、白石共立病院、福岡大学病院、福岡徳洲会病院、水城病院、協同医学研究所、鹿児島県職員、北九州市職員、長崎県職員、福岡県職員(管理栄養士) 一富士、天草病院、福岡大病院(品質管理) キュービー、日本食品(研究開発) 一番食品、ふくや、やまや、糧友グループ(栄養・運動指導員) ビーブル(事務)大和ハウス工業、カネボウ食品、鳥越製粉、学生援護会、福岡中央銀行、日本火災海上保険、全日空

【大学】(児童学専攻) (幼稚園教諭) 大野南幼稚園、茶山幼稚園、筑紫幼稚園、南博幼稚園、博多幼稚園、原幼稚園、福岡いずみ幼稚園、福岡緑ヶ丘幼稚園

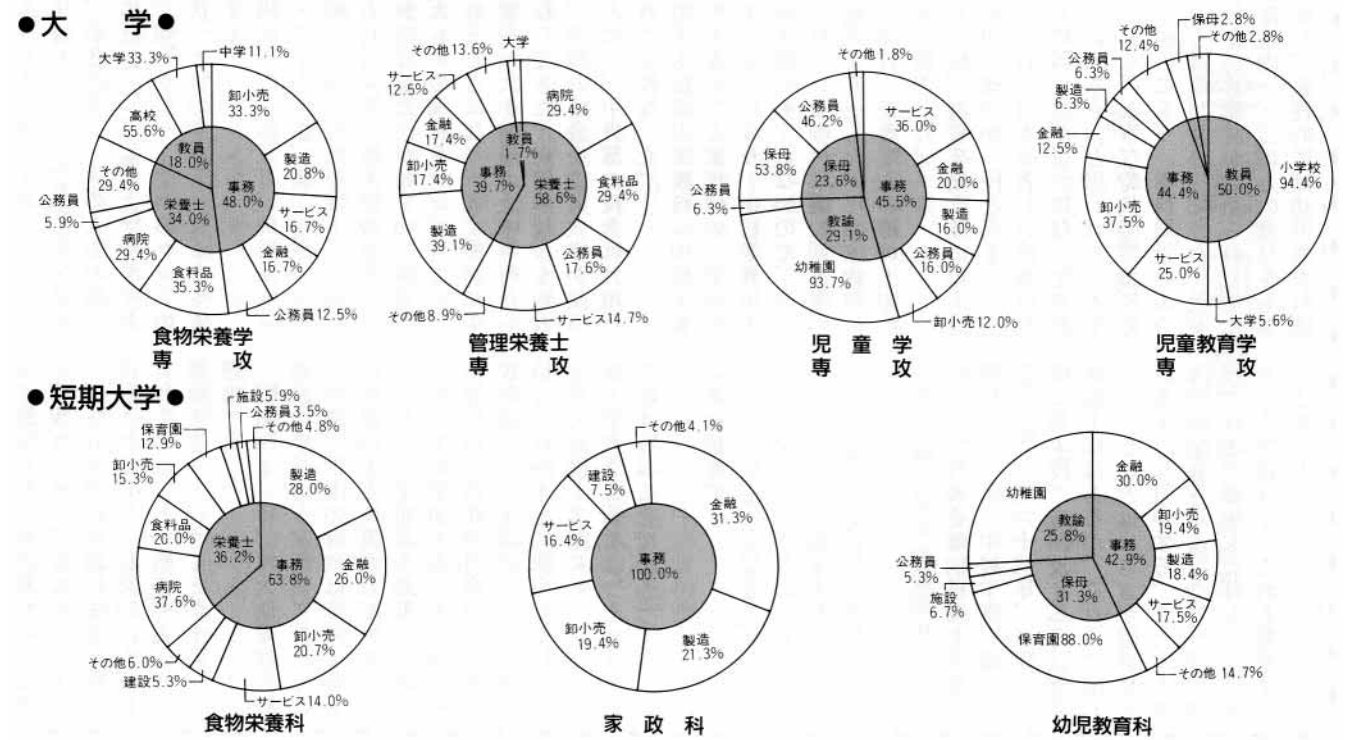
弥生幼稚園(保育) 香椎浜保育園、若草保育園、しいのみ学園、飯塚市職員、稲築町職員、大牟田市職員、太宰府市職員、福岡県職員、福岡市職員、福岡町職員(事務) 飛鳥建設、大王製紙、凸版印刷、福岡銀行、山一証券、三井海上火災保険、住友不動産、西鉄旅行、佐賀県職員、福岡県職員(営業) ホンタベルノ福岡、日本生命保険(販売) ミキハウス、博多井筒屋

【大学】(児童教育学専攻) (小学校教員) 福岡県公立学校、北九州市公立学校、佐賀県公立学校、熊本県公立学校、大分県公立学校、山口県公立学校(事務) 鳥越製粉、守谷商会、山一証券、住友海上火災保険

【短大】(食物栄養科(一般コース)) (栄養士) ウオクニ、グリーンハウス、中村学園事業部、日清医療食品、千早病院、戸嶋病院、どろんこ保育園、熊本県職員(品質管理) 日本食品、ニチレイ(事務) 安藤建設、味の素、ニチレイ、ふくや、ミツカン、クリナップ、昭和電工、三菱石油、日本セメント、荏原製作所、九州松下電器、安川電機製作所、オリンパス、三菱倉庫、トヨタオート福岡、トヨタカローラ博多、ダンロップスポーツ九州、大分銀行、十八銀行、西日本銀行、福岡銀行、豊和銀行、山口銀行、九州日本信販、野村證券、丸三証券、山種証券、三井海上火災保険、安田火災海上保険、福岡大学(営業) 岩田屋、日興証券、千代田生命保険、明治生命保険、安田生命保険

【短大】(食物栄養科(実践コース))

平成3年3月卒業生の就職状況



九州・山口各県で就職に関する懇談会を開催

学生の父母を対象とした就職に関する地区別懇談会が、今年も五月十一日の本学会会場で皮切りに六月九日までの毎週土曜日・日曜日、佐賀・北九州・鹿児島・宮崎・大分・山口・久留米・長崎・熊本の十か所で順次開催されている。

懇談会では、各地区における就職状況、求人先、希望職種に応じた担当者から、具体的資料に基づいた説明があり、熱心にメモをとっておられる姿が目についた。なかでも当日会場に招かれた卒業生が語る就職活動の体験談や職場の様子は、興味あふれる内容で笑いあり涙あり、大変好評であった。本学では学生と父母、大学の三者が常に連携し、一体となって行なう就職活動を目ざしているが、この懇談会が一つの契機となってお互いのなお一層のコミュニケーションが深まること願われる。

平成三年度入試をふり返って

教務課長 財津三郎

この春受験生となった高等学校の
新三年生、雪辱を果すべく来年度
入試へ向けて再スタートした高
校卒業生は、今まさに受験勉強に
エンジン全開である。

この時期にあたり中村学園大学
・中村学園短期大学の平成三年度
入試をふり返ってみよう。

平成二年六月及び九月・十月を
中心に、本学は九州・山口・広島
各県で開催の私立大学あるいは短
期大学合同の進学説明会に参加し
た。どの会場へも本学への入学を
強く希望する受験生および父母等
多数の来訪があり、各学科・科の
教育内容や卒業後の進路その他に
ついて具体的なかつホットな質疑応
答がくりひろげられた。これらの
応答の中で、受験雑誌等では伝わ
り難い学風なども感じとり、本学
への理解を深めると共に、入学へ
の意欲をたかめていただけたよう
である。

また三年目を迎えたキャンパス
公開は、八月一日に西一号館をメ
イン会場として開催され、県内及
び隣接県はもとより、鹿児島県や
山口県からも自分の目で志望大学
・短大を見てみたいと開始時刻の
かなり前から多数の来訪があった。
この催しは、年々盛り上がりを見
せており、受験生を迎える入試

・学生募集の担当者としても、つ
いつい熱が入り事前にラジオスボ
ットを流してみたり等、新しい試
みも取り入れてみた。

当日は、十階の大講義室に於て
ビデオ「マイウェイ」により本学
の概要を紹介し、つづいて各学科・
科長から学科・科・専攻等の説明
紹介があり、そのあと受験生は
各々志望する学科・科の説明会場
で個別面談する、というスケジュ
ールで進められた。

この企画はすこぶる好評で、来
訪者の反応は現場でも、アンケート
への回答も、そろって「施設へ
の感嘆の声、本学教授と直接話が
できたこと、在学生と会話できた
こと、に対する喜びの声、案内・
説明者の親身な対応への感謝の
声」で占められていた。

推薦入試

今年も、キャンパス公開を計画
している。多数の受験生・父母の
と来校を心から期待している。

受験勉強も実りの秋を迎えた十
一月に、大学・短大の推薦入試が
実施された。

大学全体では前年度とほぼ同数
の志願者があったが、管理栄養士
専攻は、国家試験制度の施行も反
映して前年度比三六%増と人気
高だったようだ。

一方、短大では特に幼児教育科
が例年に比べ緩やかな競争率とな
り、志願者には好結果をもたらし
た。

一般入試

年明けの一月に一般入試の願書
受付をはじめたところ、大学では
両学科とも前年比大幅な増加とな
った。管理栄養士専攻では約二四%増
加、児童教育学専攻では約二二%
の増加を見た。受験生はそれぞれ
自己の将来の進路をしっかりと見定
め、目的意識を明確に持って、本
学の学科・科を選択志願している
ことがうかがえる。

一方、短期大学では十一月の推
薦入試と同様に各学科とも志
願者が減少した。

これは、女子受験生の四年制大
学指向が強まっていること及び、
高等学校進路指導の先生方に「中
村は合格が難しくなってきたとい
る」とのイメージが過剰に浸透し
つつあることにあるようだ。

この点は入試後、県内の高等学
校を訪問して直接、先生方から話
を伺い、あらためてその認識を強
めることとなった。

以上、平成三年度入試を振り返りか
えると受験生の様々な態様や志向
が浮かびあがってくる。受験生
も、これを読まれて参考にされる
であろうし、我々も又、様々な示
唆を真摯に受けとめて平成四年度
入試広報業務の糧としたい。

卒業式

千六十三名社会へ

平成二年度卒業式が三月十五日
に行なわれ、大学生二百六十五
名、短大生七百九十八名、計千六
十三名が馴れ親しんだ学び舎から
巣立って行った。各専攻・科の代
表に卒業証書を手渡した倉恒学長
は、訓辞の中で「中村ハル先生の
『生き方』をお手本にし、卒業後
も生涯にわたって未長く勉強を続
けてほしい」とはなむけの言葉を
贈った。

大学児童学科卒業生の中には、
三人の母親で筑後市のいずみ幼稚
園の園長も務める世良田静江さん
(五十歳)の晴れやかな姿もあり、
皆の祝福を受けていた。

卒業生たちは、友人や先生らと
いつまでも別れを惜しみ、卒業証
書を手にそれぞれの学生生活の思
い出がいつばい詰まったキャンパ
スを後にした。



式場に向かう新入生

新入生を前に山元寅男学長は、
一、日常生活に建学の精神を生か
し、本学生としての誇りをもつ
てほしい。
二、たえず研究する姿勢を身に付
けてほしい。
三、大学入学の目的意識を明確に
持ち続けてほしい。

子どもの心

児童学科・幼児教育科 (8)

講師 森山雪子



子どもは何にでも好奇心を示し
ます。好奇心のかたまりです。
「どうして」が始まります。
これは大人になっても続く発見、
発明等につながり、研究、学問の
もとでもありますので大切に、
満足するように答えると安心して
次の遊びに移れます。大人達をも
っともドキリさせる質問は、性
に関する質問でしょう。

2、3歳くらいになると女の子は、
お父さんやお兄ちゃんにある
オチンチンがないことに気づき、
不思議に思い、やがて口にして
尋ねるようになります。その時
「ママのおなかの中で おちんち
んつけるの わすれてきたのよ」と
性教育の童話に書いたのがあり
ましたが、そのように言わないで
下さい。そんな大事なものを忘れた
なんて、ゆるせない、と言う感情
や、大事なものがないと言う喪失
感がうまれる可能性があります。
それがやがて男性に対する劣等感
につながるかもわかりません。

もっとひどい答えは「はしの下
でひろってきたの」とか「ス・パ
ーでかっけてきたの」などと言うお
母さんがいるそうです。そんなに
言われて子どもはとんなに傷つく
でしょう。まだ「こうのとりが
つれてきてくれたの」のほうがロ
マンチックですが、ここはしっかり
本当のことを、教えるチャンス
です。「おんなの子は 大きくな
って おかあさんになるとき とも
だいに だいに だいに しまつて
あるのよ」と言ってあげましょう。
女の子はきっと満足し、誇りをも
って生きてゆけるでしょう。

来年度

中村学園女子中学校開校に向けて

開設準備室長 藤江直子

中村学園女子高校では、平成四
年四月に女子中学校の開校を予定
しております。

建学の精神は女子高と同じく、
学園祖中村ハル先生の建学の精神
を継承し、

- 一、人間教育の根幹
日本人としての自覚をもち、
「清節」の風をたつとび、「感恩」
の情にとみ、「労作」にいそしむ
人格の形成に努める。
- 二、教育実践の基底
「形は心の現れである」を信条と
し、その実践に努める。
- 三、教育指導の基本
男女別学の主旨を体し、知徳円
満な女性の育成に努める
となつていきます。

また、教育方針は、
一、中高一貫教育により、建学の
精神に基づき「清節、感恩、労作」
の校訓を核とする人間教育の徹底
を期し、偏りのない円満な人格の
形成に努める。

二、中高一貫の教育課程を編成
し、基礎学力の充実をはかると
もに、将来の展望にたち、とくに
大学進学に備えた発展的学力の涵
養に努める。

三、個性を重視し、内発的意欲や
主体的態度の育成に努める。

四、国際化社会、情報化社会に対
応できる資質を培い、文化と伝統

を尊重する態度の育成に努める。
と、四点にまとめられます。

この方針のもと理想的な日本女性
の育成を目指して、教職員・生徒
一体となつて努力を重ねてゆく所
存ですので、皆さまの暖かい支
援をよろしく願います。

おかげさまで、中村学園女子高
校も昨年一つの節目ともいえる、
創立三十周年を迎えました。

この間、学園祖中村ハル先生の
建学の精神を基盤とした生活指導
も定着し、学力の向上と共に進学
実績の上昇、部活動の目覚ましい
活躍等も相まって、本校の評価
は、年々高まっているようです。
このような女子高をベースとし
て中学校も、人間教育および、大
学受験」の指導の徹底を期したい
と思ひます。

なお、中学校は当初は二クラス
でスタートいたします。数年後に
は三丁四クラスと拡充していく構
想もあり、そのころには新しい中
学棟もできることでしょう。

いずれにしても地域社会の要望
と期待に応える中学校であるよう
にと現在懸命に準備をすすめてお
ります。

中村学園女子中学校についてのお問
い合せは左記までお願いします。
〒八二一 福岡市城南区馬飼
七一〇 三八
TEL 九二(八三三) 九八一

この本は、著者がケンブリッジ

で科学の教師をしていたときに、
科学と技術の歴史からおもしろい
ない事件や発見・発明にまつわる
面白い話をとりあげ、授業に組
込めば、内容も豊富になるし、学
生も興味をもつだろうと集め始
め、化学 物理 生物 医学
農業・技術各編の四分冊にまと
められたものである。こ
れらを読むことにより、
科学・技術史の大まかな
流れや科学的な考え方を
掴むことができる一方、
確実な資料に基づいてい
るため、普通の科学・技
術史をデータ面から補
うものとなっている。

一冊の本 「エピソード科学史」

サトクリップ著

一般教養科 教授 宮田奈美子

炭酸カルシウムからなり、これは
酢を含めて全ての酸に溶けるが、
ほかに酢に溶けない灰分も含んで
おり、表皮に包まれた丸のままの
真珠は、数秒では溶けない。こと
の真相は……。

湾岸戦争でイスラエルの立場が
問題になったが、ユダヤ人ワイ
スは発酵によるアセトン製造法
を発見した。アセトンは溶
剤で各種の物の製造に使わ
れ、連合国は戦に勝った。

彼は戦後パレスチナがユダ
ヤ人に祖国として返される
ことを熱望していたが、一
九四八年イスラエルは生ま
れ、化学者で政治家であつた
彼が初代大統領に選ばれた。
英国の総理大臣ロイド
ジョージの言葉に祖国の再
建こそ彼の求めた唯一のもの
のだったとある。

このほかにアイト著「現代化学
史1・2・3」や篠秀之著「百万
人の化学史・原子神話から実体
へ」などが面白い。

これらのエピソードを通して科
学への関心と理解が深まることを
願っている。

ライブラリー散歩(3)

レファレンス

皆さんは「レファレンス」(reference)「とい言葉を知りましたか?」と聞かれることが多いです。これは簡単に言えば、「皆さんが必要だと思っ資料や知りたかった情報を得られるように図書館員が手助けする業務のことです。『参考業務』などとも言われています。

私たちの図書館では、この「レファレンス」をカウンターで受け付けております。今回は今までに図書館で受け付けた質問のいくつかを、ご紹介することにしよう。題して「Q&Aコーナー」のはじめ、はじめ!!

Q1 幼稚園実習へ行くために、その幼稚園近くの地図を提出しなければなりません。近くの詳しい地図はないでしょうか?

A 『ゼンリンの住宅地図』なら、福岡市、北九州市、太宰府市など近郊の地図は、だいたい揃っています。これをみれば、詳しい地図がばっちり書けますよ。『ゼンリン』のない地域の場合には、『日本都市地図要覧』、『日本分県地図地名総覧』を見て下さい。

Q2 福岡県の昔の地名「杜郷」の読み方がわかりません。何で調べればよいですか?

A まず、地名に関する資料として地名辞典があることを覚えておきましょう。これには、昔の地名から現在の地名までの多くの情報が掲載されています。当館には、『角川日本地名大辞典』が置いてあります。これは都道府県ごとになっていますので、その中の『福岡県』をみます。さて、読みを調べなければなりません。特に難しい地名に関しては、始めの方に「難読地名索引」がついていますので、これを参照します。この索引は、地名の最初の文字の画数の順番に並んでいます。ここでは「杜」がそれに該当します。画数の十画のところを探していくと、「たこのう」と読みが記してあります。

Q3 「おいしい水」とはどんなものかを知りたいのですが。何を見たらよいでしょうか?

A 「ファジイ」は最近、家電製品(洗濯機など)のコーマシヤルで使われています。昨年流行語でもありました。言葉の内容を簡単に理解しようと思えば、『現代用語の基礎知識』や『イミダス』がよいでしょう。『現代用語の基礎知識』によると、「ファジイ」(Fuzzy)とは、「あいまいさ」を意味する言葉。あたかも人間が判断するかのこころあまいな領域をも判断しながら、最近、家電製品にも次々とこのファジイ理

「キャンパス公開」と進学説明会を開催

平成四年度入試にむけての進学説明会を左記日程で開催いたします。対象は高校の先生および生徒・父母で、本学担当者が個別懇談を中心に説明いたします。入学案内のパンフレットも多数用意しておりますので、ぜひお越しください。また八月一日の本学を会場とした説明会は「キャンパス公開」として行います。入学後利用する施設・設備を目前にして、体験的に本学をよりよく理解できる内容となっています。ワープロパソコンに触れてみたい人、栄養士や児童・幼児教育の専門家を目ざす人、気軽にお出かけください。なお詳細につきましては、本学教務課にお問い合わせください。※はホテル

教職員の動き

▽新任 (平成三年四月一日付)

教授	吉村 英敏
教授	石西 伸
教授	高山 守重
教授	藤田 守
助教授	小山 逸雄
講師	中野 隆二
講師	松尾 智則
講師	佐藤鉄太郎
講師	末次 裕子
講師	諫武加代子
副	手竹内 知代
副	手泊 羊子
副	手大人 咲子
副	手江頭 美穂
副	手頭 美穂
園教諭	磯谷 知美
あさひ幼稚園 園長	今橋 洋子
学友会館 主任	藤尾 幸正
庶務課 主任	真島 久美
庶務員	佐久間 美穂
課長	石川 文子

▽昇任・昇格・配置換等 (平成三年四月一日付)

教授	青峰 正裕
助教授	久富さよ子
講師	三成 由美
助	手竹内由美子
助	手馬込 明子
助	手北 久二子
助	手池 美由紀
教授	石井サチ子
教授	黒川 混二
教授	小林 寿
教授	横田 春子
助教授	横田 春子
助	手仲野 健次
助	手平江 千史
助	手中西真由美
副	手丸山 直美
副	手橋本 有史
学友会館 主任	藤尾 幸正
庶務課 主任	真島 久美
庶務員	佐久間 美穂
課長	龍口千鶴子

▽退職 (平成三年三月三十一日付)

6・4	大分市 トキハ会館
5	宮崎市 MRT MICC
6	鹿児島市 林田
7	熊本市 熊本ホテルキャッスル
11	佐賀市 佐賀神社記念館
12	長崎市 ホテルニュー長崎
13	北九州市 北九州国際会議場
14	下関市 下関シーモール
14	大分市 コンパルホール
14	福岡市 福岡国際ホール
15	熊本市 熊本県福祉会館
15	福岡市 佐嘉神社記念館
17	佐賀市 佐嘉神社記念館
17	佐世保市 県北会館

6・18 久留米市 ホテルニュープラザ

19 佐世保市 佐世保市農協会館

19 久留米市 久留米ハイネス

20 北九州市 KMMビル

21 長崎市 長崎プリンスホテル

22 福岡市 福岡国際ホール

7・6 中津市 オリエンタル

15 広島市 並木プラザ

17 小都市 北九州予備校山口校 本学

8・1 福岡市 福岡国際ホール

9・9 広島市 広島国際会議場

31 福岡市 八代ロイヤル

18 八代市 八代ロイヤル

20 延岡市 延岡ロイヤル

25 熊本市 熊本ホテルキャッスル

25 熊本市 熊本交通センター

26 久留米市 ホテルニュープラザ

27 鹿児島市 林田

27 下関市 下関シーモール

28 宮崎市 MRT MICC

30 大分市 トキハ会館

30 大分市 小田急センチュリー

10・1 福岡市 福岡国際ホール

6・4	大分市 トキハ会館
5	宮崎市 MRT MICC
6	鹿児島市 林田
7	熊本市 熊本ホテルキャッスル
11	佐賀市 佐賀神社記念館
12	長崎市 ホテルニュー長崎
13	北九州市 北九州国際会議場
14	下関市 下関シーモール
14	大分市 コンパルホール
14	福岡市 福岡国際ホール
15	熊本市 熊本県福祉会館
15	福岡市 佐嘉神社記念館
17	佐賀市 佐嘉神社記念館
17	佐世保市 県北会館

6・18 久留米市 ホテルニュープラザ

19 佐世保市 佐世保市農協会館

19 久留米市 久留米ハイネス

20 北九州市 KMMビル

21 長崎市 長崎プリンスホテル

22 福岡市 福岡国際ホール

7・6 中津市 オリエンタル

15 広島市 並木プラザ

17 小都市 北九州予備校山口校 本学

8・1 福岡市 福岡国際ホール

9・9 広島市 広島国際会議場

31 福岡市 八代ロイヤル

18 八代市 八代ロイヤル

20 延岡市 延岡ロイヤル

25 熊本市 熊本ホテルキャッスル

25 熊本市 熊本交通センター

26 久留米市 ホテルニュープラザ

27 鹿児島市 林田

27 下関市 下関シーモール

28 宮崎市 MRT MICC

30 大分市 トキハ会館

30 大分市 小田急センチュリー

10・1 福岡市 福岡国際ホール

ので一度読んでみて下さい。図書館でこんな質問したら恥ずかしいななんて思っている人!分らないこと、疑問に思ったことがあったら、カウンターへいらつしゃい!! 案内、簡単に問題解決がもしもせんよ。ただ、質問を持って来て来た皆さんに、反対にたくさん質問をすることがあるかもしれません。しかし、それも皆さんの確かな回答を出すための手段です。どうぞと協力してほしいです。お願いします。また、一度で満足できなかった方も何度でもいらつしゃってください。お待ちしております。




出版のお知らせ

▽『中村学園研究紀要 第二十三号』 B5版 二六六頁/発行 平成三年二月二十八日

▽『ライフステージに即した健康生活習慣の指導に関する研究』/平成二年度科学研究費補助金(一般研究(A))研究成果報告書研究課題番号六三三〇〇〇九/B5版 二〇〇頁/研究代表者 松本 壽吉/発行 平成三年三月二十日

古賀範雄助教授 海外研修へ出発



平成3年度の海外研修派遣教員として、一般教養科(保健体育)の古賀範雄助教授が4月12日、ご家族とともにアメリカへ出発された。古賀助教授は1年間、シカゴ州のインディアナ大学体育学部 Kinesiology(運動科学)学科の David L. Gallafue 教授のもとで、「乳幼児期の運動発達に関する分析的研究」を行われる。特に Basic Movement の習熟や拡大といった発達のメカニズムについて、Kinesiologic な研究を行うとともに乳幼児期の Movement Education についてもアプローチを試みられる。帰国は来年3月20日の予定。

編集後記

第一号を発行してから九号で本誌も丸三年が経過。この間、発行部数も八千部から一万部へと増冊されています。今号の発行前に、短大同窓会誌に紹介していただいたところ、早速、神奈川県横浜市在住の鷺崎幸子様ほか数名の同窓生の皆さんから、送付希望のお手紙を頂き、母校に対するOBの愛着を実感いたしました。



10・1	福岡市	福岡国際ホール	
10	1	福岡市	福岡国際ホール
30	30	大分市	小田急センチュリー
28	28	宮崎市	MRT MICC
27	27	下関市	下関シーモール
27	27	鹿児島市	林田
26	26	久留米市	ホテルニュープラザ
25	25	熊本市	熊本交通センター
25	25	熊本市	熊本ホテルキャッスル
20	20	延岡市	延岡ロイヤル
18	18	八代市	八代ロイヤル
9・9	9・9	広島市	広島国際会議場
31	31	福岡市	福岡国際ホール
8・1	8・1	福岡市	本学
17	17	小都市	北九州予備校山口校
15	15	広島市	並木プラザ
7・6	7・6	中津市	オリエンタル
22	22	福岡市	福岡国際ホール
21	21	長崎市	長崎プリンスホテル
20	20	北九州市	KMMビル
19	19	久留米市	久留米ハイネス
19	19	佐世保市	佐世保市農協会館
6・18	6・18	久留米市	ホテルニュープラザ
6	6	鹿児島市	林田
7	7	熊本市	熊本ホテルキャッスル
11	11	佐賀市	佐賀神社記念館
12	12	長崎市	ホテルニュー長崎
13	13	北九州市	北九州国際会議場
14	14	下関市	下関シーモール
14	14	大分市	コンパルホール
14	14	福岡市	福岡国際ホール
15	15	熊本市	熊本県福祉会館
15	15	福岡市	佐嘉神社記念館
17	17	佐賀市	佐嘉神社記念館
17	17	佐世保市	県北会館